

大島力教授ご退任に当たり

青山学院大学学長 阪本 浩

経済学部教授大島力先生は、本年3月をもって定年退職されることとなりました。ここに、大島先生の長年のお働きに対する感謝の言葉をお伝えいたします。

先生は、2007年から2011年まで大学宗教部長、2017年から2021年まで学院宗教部長をお務めになり、その間、大学、学院の宗教行事の責任者として大変な重責を担ってくださいました。辛い思いをされることも少なくなかったかと思います。様々の会議において、宗教部長のお立場から、学院のために勇気ある発言をされる場面に何度か立ち会う機会もありました。小心者の私など、はらはら、おろおろするばかりの時にも凛とした大島先生のお姿がとても印象的でした。正に建学の精神の守護役を觀ているように感じたことを思い出します。教職員一同、先生の長年のお働きに感謝申し上げると共に、先生が大切にされた事を、これからは我々が受け継いで行きますとお伝えしなければならないのではないかと思います。

さて、私事にわたり恐縮ですが、私は何人かの友人に会う度ごとに、「大島君は元気にしている？」と尋ねられます。先生とは奇しきご縁で結ばれているように感じておりました。先生は青山学院高等部卒業後、東北大学文学部西洋史学科で西洋史学を専攻され、その後、東京神学大学大学院へ進まれました。私は、丁度その後を追うように、本学文学部史学科を卒業し、東北大学大学院に入学しました。従って、私の大学院での同期生の多くが大島先生の学部時代の同期生だったのです。2005年度青山学院学術褒賞受賞に代表されるように、研究者としての先生には、多くの優れた業績がありますが、その基礎には学部段階でしっかりと歴史学を修めたことがあるのではないかと思います。我田引水と叱られるでしょうか？ 最新のお仕事は、『クリスマス全史』の日本語版

監修ですので、そう言っても許されるのではないかと思います。クリスマス2000年の歴史を解説した興味深い作品です。私的な思い出をもう一つ。私の副学長、学長就任式の司式を務めてくださったのは先生でした。緊張していました。荘厳なお式の後、もちろん小さな声で、「これも神の摂理？」と言って二人で笑ったことを思い出します。

改めて、長年のお働きに感謝の意を表し、これからも先生がお元氣でご活躍されますようお願い申し上げます。